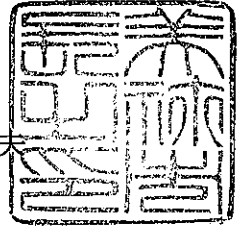




美 建 第 4 7 4 号
平成19年 5月 1日

国土交通省道路局長 殿

美祢市長 小竹 伸夫



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたこのことについて別紙のとおり意見書を提出いたします。

平素より道路事業に格段のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市におきましては、美祢市第三次総合計画「躍進みね21プラン」を策定し市民生活に密着した道路整備の諸施策を推進してまいりました。

また、第六次基本計画の推進にあたっては、生活者重視の視点から安全で安心して暮らせる生活環境の整備をめざし、環境施策の充実、高度情報化社会への対応などの諸施策の推進に努めてまいりますとともに、積極的な情報の提供を行い、まちづくりを推進してまいりたいと考えております。

本市では、交通体系の整備といたしまして地域振興道路の整備、生活道路の整備、公共交通機関の充実を主要施策と位置づけ推進しております。

地域振興道路の整備といたしましては、また中国自動車道の2つのインターチェンジ、東西・南北に走る国道など、現代の車社会に対応した道路交通網の整備は着実に進んでいるため、広域幹線軸を見据えた道路交通ネットワークの整備に積極的に取り組む必要があると考えております。生活道路の整備といたしましては、地域高齢化に伴う高齢者対策として道路施設のバリアフリー化に努めるとともに、安心して暮らせる、「やすらぎ」に満ちたまちづくりに取り組む必要があると考えております。公共交通機関の充実といたしましては、JR美祢線、バス路線そして市中心部と市内4地域を結ぶコミュニティバスがあり、市民生活には欠かせない貴重な足となっております。地域住民の高齢化に伴い乗り合いバスは通院、買い物等の地域住民の日常生活を支える交通手段として、重要役割を担っております。しかしながら、マイカーの普及や少子化の影響等で恒常的に利用者が減少し路線からの撤退・減便を繰り返しており、交通不便地域が存在するのが現実です。このような交通不便地域を少なくするためには、新たな交通システムの確立を図ることが必要であり地域のニーズに応じた通勤、通院などの日常暮らしを支える生活幹線道路の整備が必要であると考えております。

以上、主要施策であります。本市におきましては、今後道路整備を推進していく上でこれら主要施策が特に優先度の高い政策として考えております。

本市では、第6次基本計画の推進にあたり生活者重視の視点から安全で安心して暮らせる生活環境の整備をめざし、積極的な情報の提供を行い、地域住民とともにまちづくりを推進してまいりたいと考えており、限られた予算で最大限の効果をあげるためには、道路整備事業の実施にあたっては、地域住民の考えや意見が十分に反映されるように理解を求め取り組むことが、実施道路整備の効率化を進める上でもっとも重視すべきところであると認識しております。

本市におきましては、市民生活の快適性や経済活動の効率化を高めるため、広域交流の時代即応した総合的な道路交通ネットワークの確立を図るとともに、自然と共存した安全で快適な道路環境づくりを推進しておりますが、厳しい財政事情の下、道路整備進捗率の低下に伴う整備の遅れ及び維持管理費の増大に伴う財政への圧迫等の課題をかかえているのが現状であります。

つきましては、道路交通ネットワークの確立、道路環境づくりを推進していくにあたり道路整備のみならず維持管理についても財政的支援措置を講じていただくことを強く要望したいと考えております。